

基本編

	新卒採用HP	各種説明会・セミナー	就活パンダのまとめ情報	統合報告書
特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒採用HPは、企業の新卒採用担当者が学生に知ってほしいことをピックアップして作られています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業が自ら主催し一社単独で開催するもの(以下、自社イベント)と、マイナビやリクナビなどが主催し複数の企業が合同で行うもの(以下、合説)があります。</li> <li>・多くの場合、講義+質疑応答がセットになっています。加えて、社員との交流もセットされている場合もあります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ONECAREER</li> <li>・外資就活ドットコム</li> <li>などが公表しているまとめ記事を指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の売上や資産などの財務情報に加え、企業統治や社会的責任(CSR)、知的財産などの非財務情報をまとめたものです(毎年公開)。</li> <li>・「個人投資家向け説明会用のPPT」は、統合報告書のエッセンスが分かりやすくまとめられており、こちらをチェックするのもおススメです。</li> </ul>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社概要から福利厚生まで就活で必要となる情報が網羅されている</li> <li>・社員の掲載人数が多く、記述も詳細であるため、(複数社の採用HPを比べ読みすれば)人・社風の比較に最適</li> <li>・外部メディアでは公開していない「最新情報」「内部情報」も掲載されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たいていは業界概要や企業概要などの説明があり、全体観/全体像を理解できる</li> <li>・業界・事業・仕事・人/社風など、広いテーマに手軽に触れられる(自分で調べる必要がない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要点がまとまっており、概要把握に役立つ</li> <li>・(概要ではあるが)強み・弱みなどもまとまっている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業概要や経営戦略などについて(新卒採用HPより)網羅的かつ詳細な情報を得ることができる</li> <li>・ここまでチェックしていない学生も多いため、企業理解や志望理由のトークで差別化が図れる</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業側が知ってほしくない情報、弱みは基本的に掲載されていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的には広く浅い情報提供(特定テーマで開催された場合を除く)</li> <li>・質疑応答では、当たり障りのない回答しか得られない可能性が高い(特に合説の場合)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・玉石混濁の情報が大量にストックされているため、欲しい情報/有効な情報に辿り着きにくい</li> <li>・情報が更新されておらず古い情報しか掲載されていない場合がある(最終更新日が最近であっても、「業績比較しか更新されておらず経営戦略比較は古いまま」という場合もあるので、各社が個別に出している最新情報をもとに比較することが望ましい)</li> <li>・内容が就活における一般常識であることが多く、他者との差別化のための情報は得られにくい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分量が多く読み込みに時間がかかる</li> <li>・読み慣れていないと、情報の全体像を掴むのに骨が折れる</li> </ul>

応用編

	OBOG訪問	キャリア採用HP	日経新聞電子版
特性	<p>OBOG訪問は、企業分析を深化させるための重要な機会です。少なくとも第1志望群の企業・業界については積極的に行うことが望まれます。</p> <p>→訪問すべきことやコツについては、<a href="#">11/17号のレビュー—News</a>をご参照ください</p>	<p>新卒(学生)向けではなく、転職希望者(職歴のある社会人)向けの情報が掲載されているHPです。</p>	<p>経済紙である日本経済新聞の電子版です。X(旧Twitter)では、ビジネスや金融など特定分野に特化した情報提供を行う日経アカウントがあるので、欲しい情報に合わせてフォローすることがおすすめです。</p>
メリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の就活生と差別化を図る情報収集の絶好の機会(基本ソースで取得した情報の深堀り、公開されていない情報の取得などができる)</li> <li>・弱み/本音情報も得られる</li> <li>・多少の選考優遇を獲得できる場合もある(基本的にはプラス評価のみが申し送られる。マイナス評価で選考落ちに繋がるとはならない)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業務で求められるスキル・資格が確認できるため、希望領域/業務の解像度を上げることができる</li> <li>・転職者のインタビュー記事から(元他業界/他社の社会人から見た)その企業の強みを知ることができる。多くは「前職との比較」で語られているため、新たな視点を得られる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各業界/企業の最新トピックスについて、概要に加えて背景や社会的影響などの情報が得られる</li> <li>・第三者(記者)による外部目線がまとめられている</li> <li>・グローバルな政治・経済・社会環境についてカバーされており、(業界や企業を見る上で)高い視座・広い視野を得るのに役立つ</li> </ul>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社員との調整をはじめとした準備の負担が重い</li> <li>・こちらの希望(志望など)にフィットする社員を探す/会うのは意外と難しい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新卒採用HPと比べると、掲載されている業務/職種の網羅性は低い(現在積極的に募集している職種に偏っている傾向)</li> <li>・一部生損保・デベロッパなど人材の流動性が低いとされる企業では、キャリア採用においても部門別の採用ではなく新卒採用と同様に「総合職」のみの応募となっていることが多い。その場合は、必ずしも希望領域/業務の解像度を上げる情報に出会えるわけではない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月額4000円台と少なくない費用が掛かる</li> <li>・企業の公式情報よりも情報が遅い、企業の内部情報については薄い/浅いことがある</li> <li>・社会人目線で見るとやや不正確な情報も掲載されている</li> </ul>